

住み継ぎの段階性に見る交流施設の役割と 運営実態に関する研究

—大分県竹田市における移住者が運営する施設を対象として—

大分大学創生工学科建築学コース

建築・都市計画研究室

4年 轟木龍介

1. 研究の背景

現在，農山村地域は**地域の担い手不足**を背景に，様々な地域振興が取り組まれている。

地域同士の**移住者の取り合いの解決**や**新たな地域づくりの担い手**として期待されている
「**関係人口**」

「**住み継ぎの段階性**」・・・・・・ [無関心ー地域を担う] までの関わりの多様性を示す

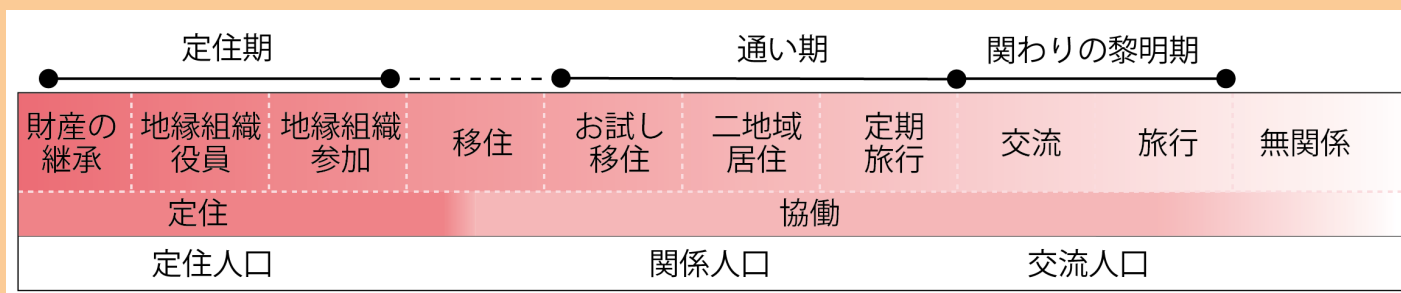


図1 住み継ぎの段階性概念図¹⁾

移住を目指すものではなく，**段階ごとに地域との交流機会の促進**を図ること
とで，結果として地域の担い手の維持増進に繋がると考えられる。

既往研究²⁾

大分県竹田市を対象として，**地域住民や旅行者が利用する施設における交流機会を誘発する要因**が挙げられている。

また，地域おこし協力隊員が交流機会の中間支援機能を果たすとある。

複数の施設において，多様な人々の関わりと交流が確認できていることから，「住み継ぎの段階性」の各段階の利用があると考えられる。

1) 佐久間康富, 山崎義人「住み継がれる集落をつくる営みのなかの『農村協働力』農村計画学会誌 Vol. 36, No4, 2018年3月 図4著者加筆

2) 宮下達平, 姫野由香 (2019) 「大分県竹田市における地域おこし協力隊が運営に携わる交流施設の変遷と連携の実態- 地方都市における移住・定住の促進に関する研究-」日本建築学会九州支部論文集

2. 研究の目的

大分県竹田市は

2015年から2018年までの「地域おこし協力隊」員数が、全国の市町村の中で最も多い。
2017年以降、**交流機能を有する施設開設**が相次いでいる。

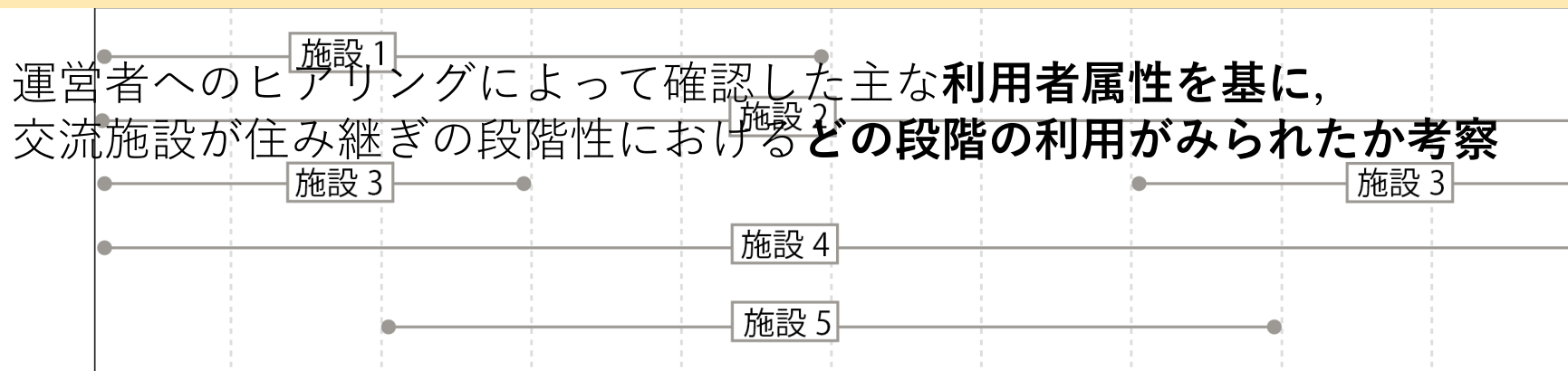
これらの施設は**関係人口と地域住民など多様な人々との交流機会の創出に繋がっている**と考えられる。

目的

- ① 交流施設が住み継ぎの段階性におけるどの段階の利用がみられたか考察
- ② 施設開設時の協力関係構築の実態
- ③ 住み継ぎの各段階の利用がみられた施設の建築特徴

農山村地域の住み継ぎの各段階における**交流施設の整備**に関する有益な知見

3. 住み継ぎの段階性における、利用がみられた主な段階



4. 各住み継ぎの段階性における施設特徴

立地

施設開設時の連携体制

各施設 平面図立面図

- 地域中心道路 商店が並ぶ道路，また道路沿線建築の40%以上が飲食店である道路
- 文化交流道路 歴史観光施設や公共施設が立地する道路
- 地域間連絡道路 ①②を除く，県道又はバス路線となっている道路
- 生活道路 ①②③以外の道路



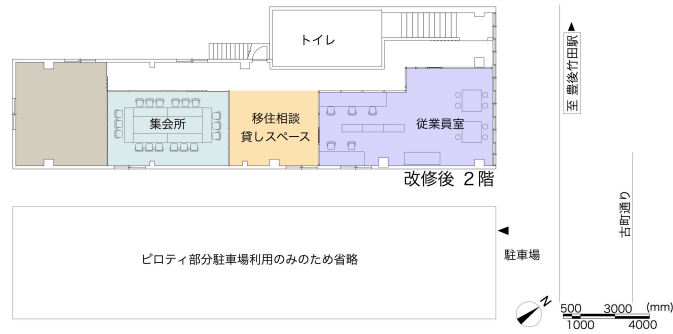
4. 各住み継ぎの段階性における施設特徴

立地

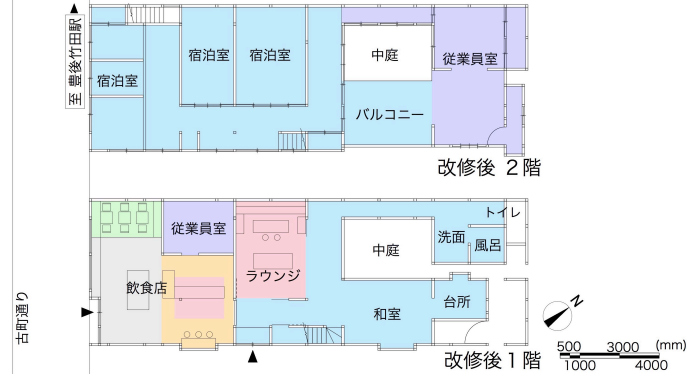
施設開設時の連携体制

各施設 平面図立面図

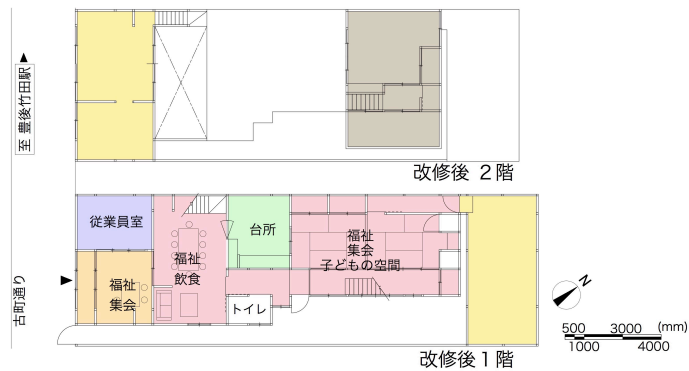
施設 1



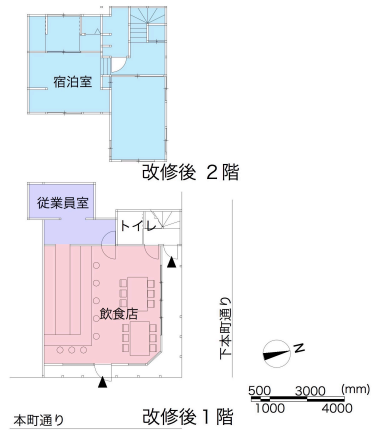
施設 2



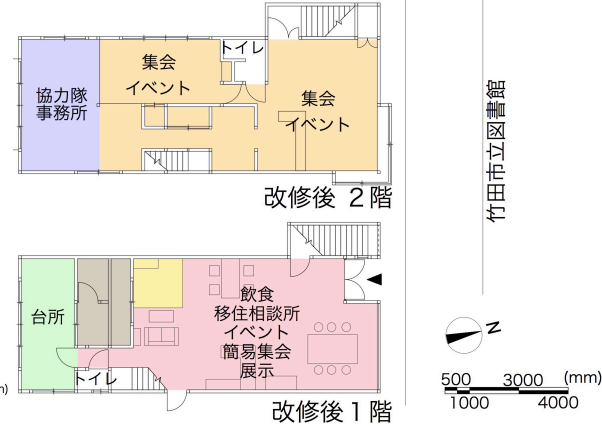
施設 3



施設 4



施設 5

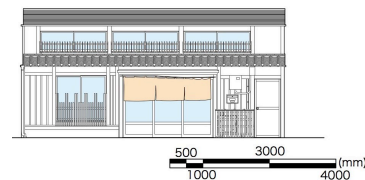
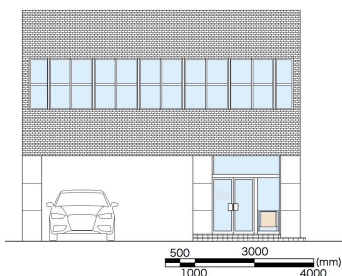


凡例

- 交流空間
- 多機能空間
- 飲食機能
- 物販機能
- 集会機能
- 宿泊機能
- 運営関係室
- 子どもの空間
- 現在未使用室

凡例

- ガラス
- 看板



5. 住み継ぎの段階性における「全体の利用がみられた」施設の特徴

立地

施設2 施設4



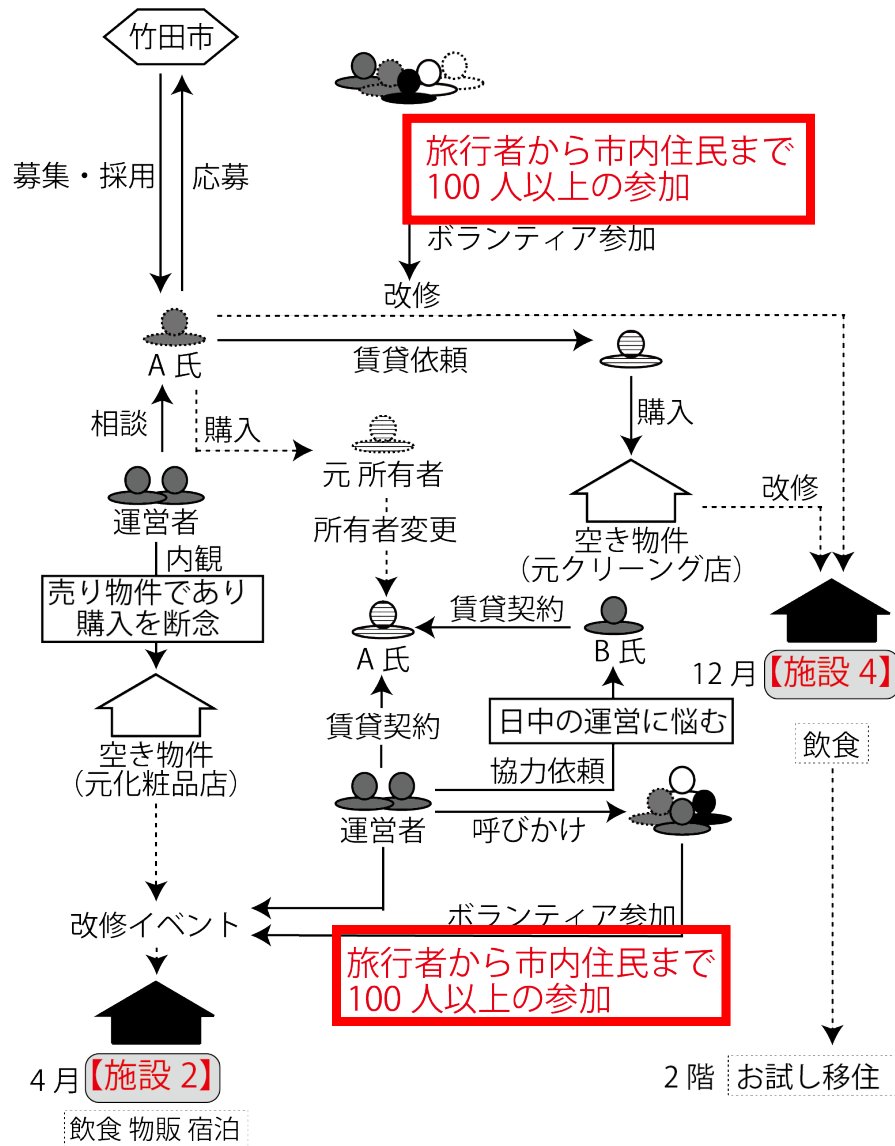
- 地域中心道路
- 地域間連絡道路

住み継ぎの段階性**全体の利用**
がみられた施設

- ・ **地域中心道路沿いに立地**しており
地域間連絡道路にも近い

5. 住み継ぎの段階性における「全体の利用がみられた」施設の特徴

施設開設時の連携体制



施設2 施設4

住み継ぎの段階性**全体の利用**がみられた施設

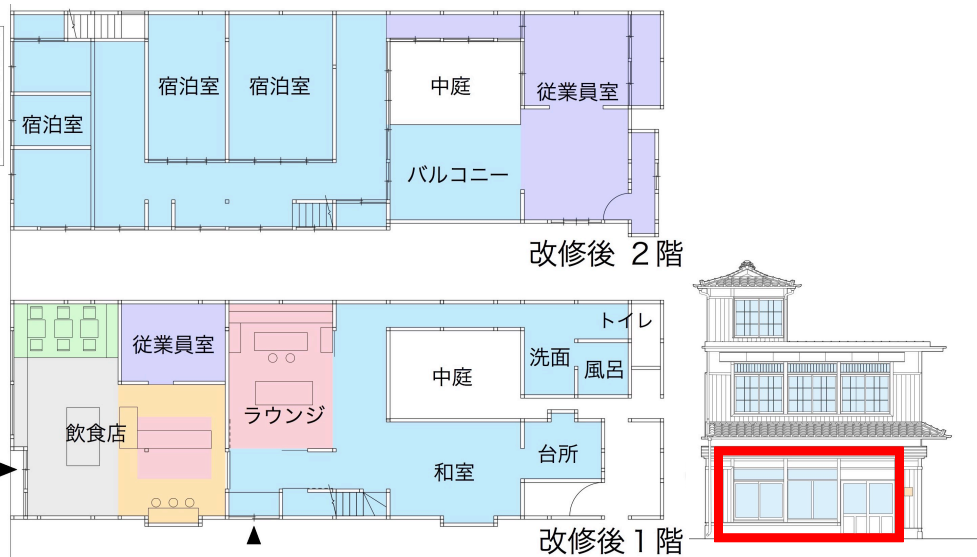
- **地域中心道路沿いに立地**しており
地域間連絡道路にも近い
- 施設開設の準備段階から周辺住民や移住者など**多様な関係構築が確認**できた

5. 住み継ぎの段階性における「全体の利用がみられた」施設の特徴

各施設 平面図立面図

施設2 施設4

施設2



住み継ぎの段階性**全体の利用**
がみられた施設

- **地域中心道路沿いに立地**しており
地域間連絡道路にも近い
- 施設開設の準備段階から周辺住民
や移住者など**多様な関係構築が確**
認できた
- 飲食機能を有し、カウンターによ
り**運営者と交流しやすい空間が確**
認できた
また、宿泊機能が併設されている
- 1階立面がガラス張りで
通りから内部の様子が見やすい

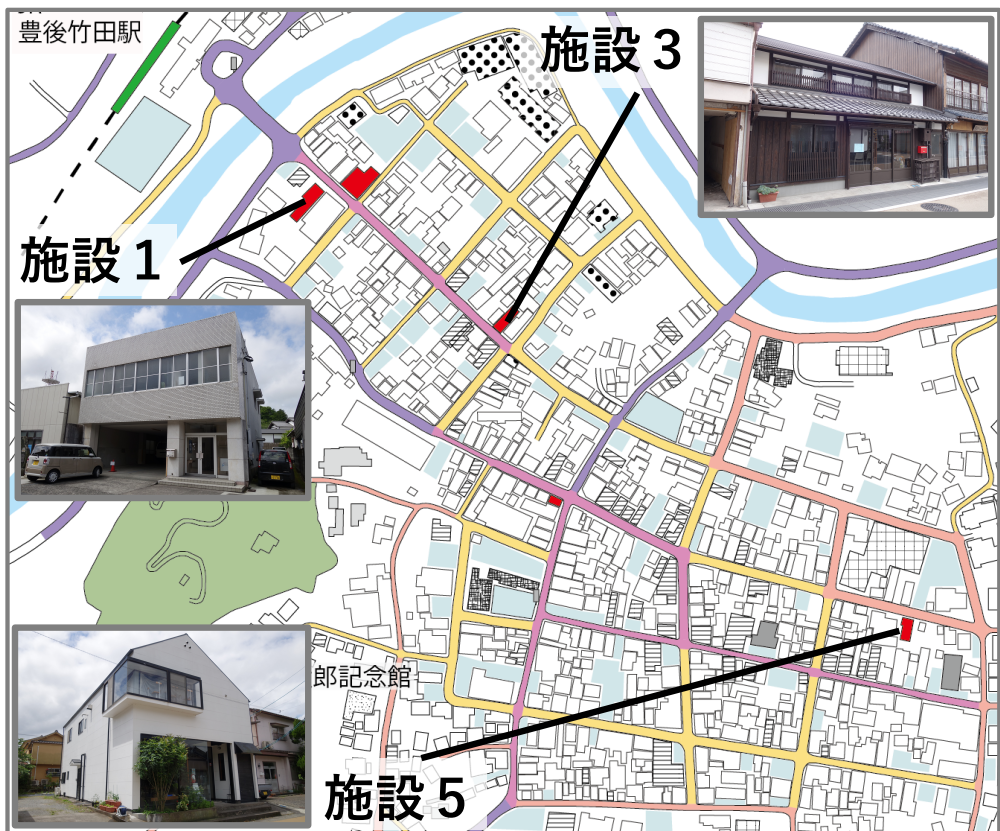
施設4



6. 住み継ぎの段階性における「一部の段階の利用がみられた」施設の特徴

立地

施設1 施設3 施設5



住み継ぎの段階性一部段階の利用がみられた施設

- ・地域中心道路沿いに立地している
→施設5は離れた立地している

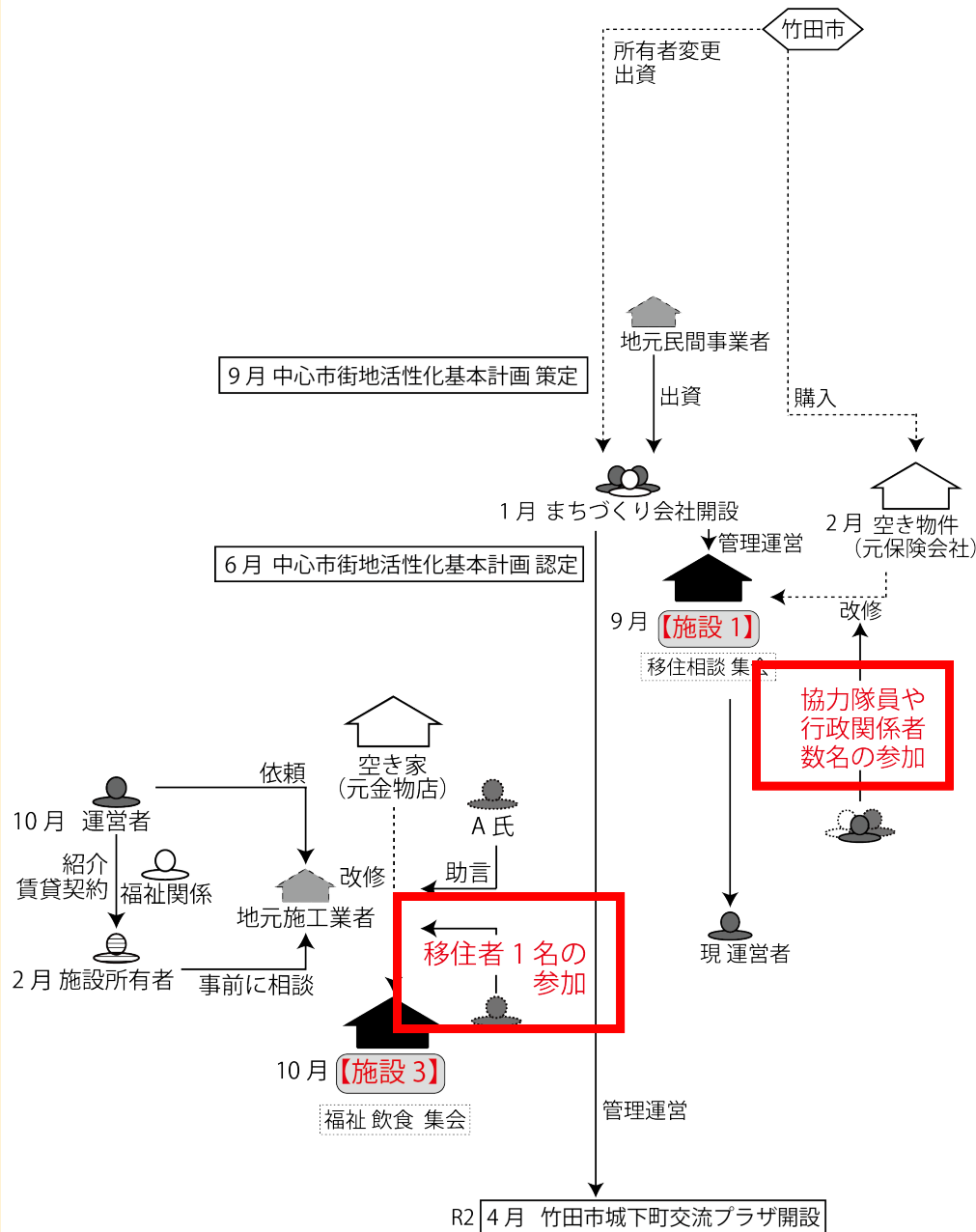
6. 住み継ぎの段階性における「一部の段階の利用がみられた」施設の特徴

施設開設時の連携体制

施設1 施設3 施設5

住み継ぎの段階性**一部段階の利用**
がみられた施設

- ・ **地域中心道路沿いに立地している**
→施設5は離れた立地している
- ・ **改修協力者は数名程度であった**

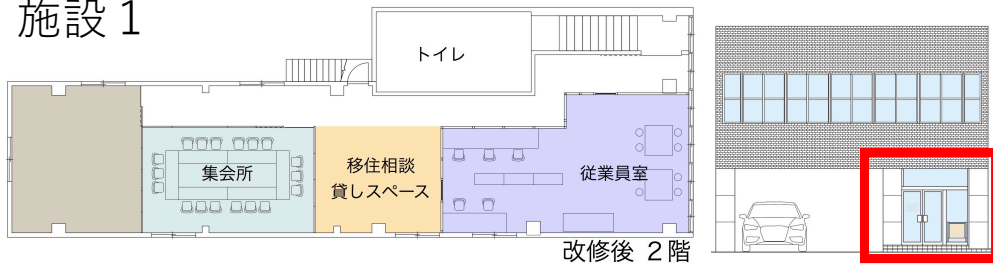


6. 住み継ぎの段階性における「一部の段階の利用がみられた」施設の特徴

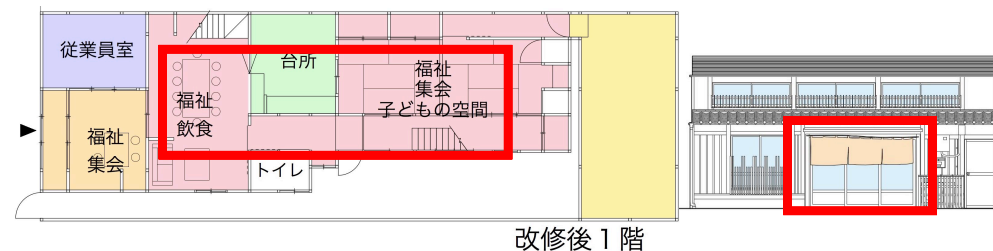
各施設 平面図立面図

施設1 施設3 施設5

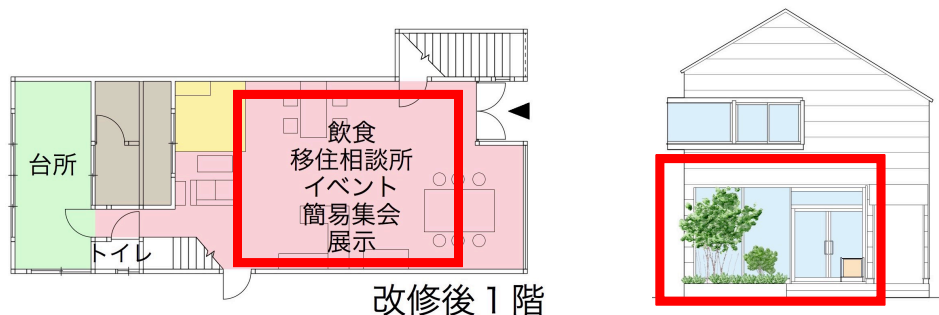
施設 1



施設 3



施設 5



交流空間

住み継ぎの段階性**一部段階の利用**
がみられた施設

・ **地域中心道路沿いに立地している**
→施設5は離れた立地している

・ **改修協力者は数名程度であった**

・ 施設3, 施設5
一つの空間を多様な機能で利用されて
おり, 交流空間となっている

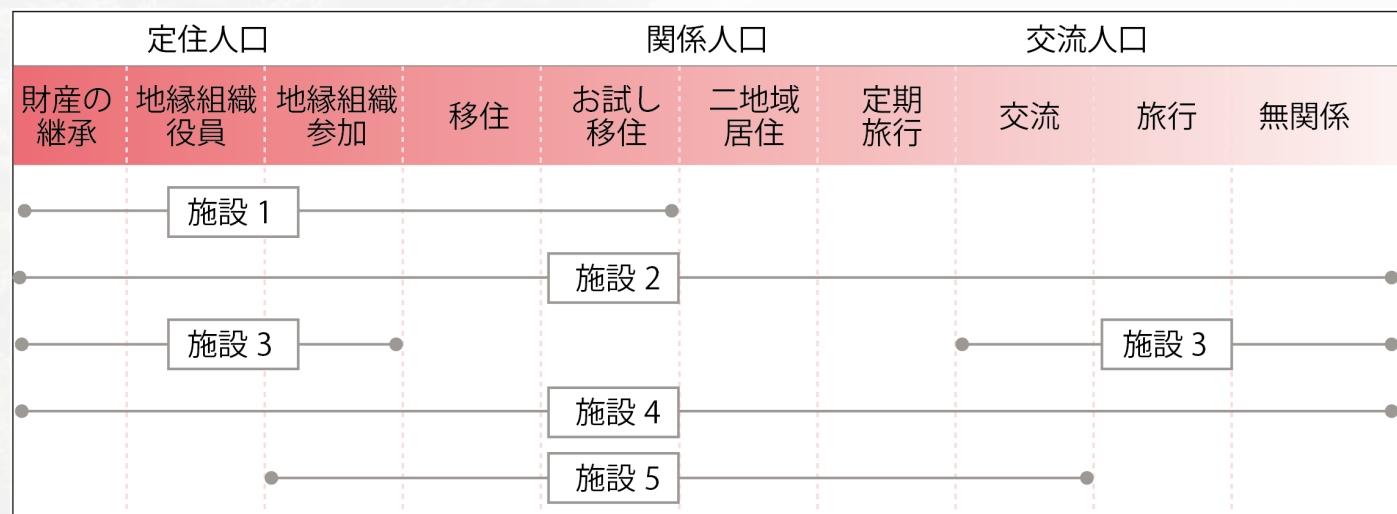
・ **通りから内部の様子が見やすい**
→施設1 施設3は内部が確認できない

・ 施設1, 施設3
内部の様子を確認できないが, 地域中心道
路沿いに立地していた

・ 施設5
内部の様子が見やすいが, 地域中心道路か
ら離れた場所に立地していた

7. 総括

交流施設が住み継ぎの段階性におけるどの段階の利用がみられたか考察



各住み継ぎの段階性における特徴

全体の利用がみられた施設

地域中心道路・地域間連絡道路の近くに立地し、改修時に多様な関係構築があり運営者と交流しやすい飲食機能と宿泊機能があった。

各段階の利用がみられた施設

地域中心道路沿いに立地し、改修協力は重視されておらず、内部の様子が確認しやすくなっていた。

しかし地域中心道路から遠い、内部の様子が確認しづらいなどの問題点があった。

竹田市には旅行者から定住者まで様々な交流施設が用意されているといえ、地域の担い手の維持増進に大きな役割を担っている。